

 はなふさ皮膚科

久我山院 大宮院 朝霞台院

☎048-424-3726

脳神経外科
ブレインピア坂戸西

坂戸市大字新堀279番地1(坂戸西スマートIC近く)

☎049-288-7007

あなたの街の

コラムご紹介頂く
医療機関様募集中!!



●●● お問い合わせは (株)宣通 ☎03(6435)8433 ●●●

A ADHDの症状には不注意、多動、衝動性の3つがあり、中程度から重度の場合には二次障害を防ぐためにも早期の薬物療法の併用が推奨されています。

現在日本で使用できるお薬は、大人はメチルフェニデート徐放剤（コンサータ®）、アトモキセチン（ストラテラ®）、

り、日中の眠気や集中困難などを改善します。アトモキセチンはゆつくりと効果が現れ、気づく力や精神的な視野を改善します。インチュニブは不注意に加えて気分のむらや衝動性に奏効しやすいです。



南浦和駅前町田クリニック
院長 町田 なな子

南浦和駅前町田クリニック院長。医学博士、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本精神神経学会認知症診療医、日本医師会認定産業医、日本臨床精神神経薬理学会、日本うつ病リワーク協会、日本ADHD学会、日本スポーツ精神医学会。

Q ADHDの薬物治療にはどんなものがありますか？治療のゴールはあるのでしょうか？

グアンファシン（インチ
ユニブ®）、17歳未満
の方はそれに加えてリ
スデキサンフェタミン
メシル酸塩（ビバンセ
®）があります。

いずれも神経伝達物
質の働きを改善するお
薬で、ドーパミンやノル
アドレナリンの量を増
やしたり、伝達効率を高
めたりする効果があり
ます。コンサータ®とビ
バンセ®は即効性があ
り、日中の眠気や集中困

関係性も好転した時、受験終了や進学・就職のタイミング、など様々ですが、薬物治療を終了した後も服用中に身につけた学習効果は継続します。

A D H Dの方は沢山の魅力ある「個性」を持つており早期治療によりその能力・可能性を伸ばすことが可能ですので、早めに専門医にご相談することをお勧めします。